

## ありがとう短期留学生 8名

10月7日から1ヶ月間通学していた5名の留学生と、10月28日から1週間通学していた3名の留学生の計8名がそれぞれ帰国・元々の留学先の高校へと戻りました。

生徒たちと一緒に授業を受けたり、開成山ガイドツアーをしたり、日本文化部とお茶・よさこい部と東京五輪音頭を体験したり…たくさんの思い出ができたのではないかと思います。

11月1日は留学生8名にとってあさか開成高校で過ごす最後の日でした。留学生たちはクラスの友人たちから寄せ書きやプレゼントをもらい、別れを惜しんでいました。留学生たちは学校を出るまでに「帰りたくない。寂しい。」と何度も涙を流していました。また、「ずっとあさか開成高校にいたい。」という留学生たちの言葉に、とても嬉しくなりました。

異地区間交流で来ていた1週間の留学生3名は、11月2日にそれぞれ元々の留学先である愛知県や会津に帰っていきました。

そして1ヶ月間の留学生5名は、11月3日に福島空港から伊丹空港へ飛び、更にそこからそれぞれ乗り継ぎをし帰国しました。福島空港にはAFSスタッフや本校教員、そしてホストファミリーが駆けつけ、涙みだのお別れとなりました。

今回の留学生の中には来年の春桜を見に来日するという留学生や、夏休みを利用して来年の夏2ヶ月日本に滞在する予定の留学生もいます。また留学生たちと再会できる日を楽しみにしています。

短期留学生8名が帰りましたが、本校には4月からの長期留学生が1名います。来年1月いっぱいまでの留学で、こちらも早いもので残り3ヶ月弱となりました。留学生にも本校生にも、交流を通してお互いの国の文化や言葉などを学び、一つでも多くの思い出を作してほしいと思います。

### 短期留学生との思い出

